

伊陸夢プランだより

～たすけあいの郷“いかち”～

第45号

令和7年6月26日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

※「たすけあいの郷“いかち”」は夢プラン策定時に実施したアンケートにより決まったスローガンです。

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也

「創立 150 周年記念 伊陸小学校連合大運動会」が開催されました！

今年の運動会は雨天順延となり、5月25日（日）に開催されました。地域の方々参加の競技は残念ながら中止となってしまいましたが、競技へ参加の声掛けなど、役員の皆さまには大変お世話になりました。

また、今年度は伊陸小学校創立 150 周年記念なので、運動会の閉会式後に来場者全員で約 450 個の風船飛ばしを行いました。たくさんの風船が空高く上がっていく様子は、とても感慨深く感動いたしました。風船の準備などお手伝いいただいた方々には感謝申し上げます。

伊陸小学校創立 150 周年記念イベントなど、今後も協力して参りたいと思っております。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



体育館はもうすぐ解体される予定です。これまでの感謝をこめて、小学生や地域の方々がメッセージを書きました。



風船飛ばしイベント「とべとべ伊陸」を行いました。みんなで小学校校歌を歌い、一斉に飛ばしました。多くの歓声が上がりました。

☂ 梅雨の時期がやって来ました。 ☂

今年は6月8日、昨年より早く平年よりは遅い梅雨入りとなりました。1週間ずっと雨だったかと思えば、真夏のような暑さが続き雨が降る気配がありません。

しかしながら、例年7月は豪雨が発生しやすく大きな被害が起きています。伊陸地区においては、河川や水路の氾濫、土砂災害に注意が必要です。テレビやラジオ、インターネットなどで情報をチェックして、早めの行動を心がけましょう。

柳井市の場合、気象庁から注意報が出されると、情報収集と対策のため職員が市役所に待機しています。自身の行動に迷った場合は、市役所に電話をして相談するのも方法の一つです。

また、自主避難所とは「一時的な避難であり、そこで生活することは想定されていない」ため、水や食料、寝具類などは自分で用意をする必要があります。

日頃から、防災グッズをリュックなどに用意しておく、いざという時にすぐに行動でき安心です。既に用意している人は、定期的に見直しを行っておくと更に安心といえます。

災害が起きやすい時期だからこそ、自分の身は自分で守る準備しておきましょう。

☆自主防災組織の防災勉強会の紹介☆

6月15日（日）長野自治会で、防災勉強会がありました。お隣の木部自治会の方にも参加してもらい、柳井市危機管理課による「土砂災害から命を守る」講演を聞き、柳井地区広域消防の方からAEDを使った人命救助の方法を学びました。約40名の方が参加をされ、真剣に取り組んでおられました。

AEDは、「自動体外式除細動器」といわれるもので、心臓や呼吸が止まっている人に使います。心肺停止状態の心臓は、痙攣していて全身に血液を流せなくなっています。AEDは、そういった状態の心臓に電気ショックを与え、心臓のリズムを正常に戻す事を目的としています。

AEDは、自動で心臓の電気信号を測定・解析し、AED使用の必要性を判断します。そして、音声で手順を教えてくれるので、そういった場面に遭遇した場合は躊躇せず「胸骨圧迫（心臓マッサージ）」とAEDによる救命を実践してください。

この度、長野自治会の自主防災組織は、地域にAEDを設置いたしました。いざという時にはしっかり役に立てていただきたいと思います。（長野集会所壁面に設置しています。）

